

地域密着型サービス事業所の自己評価項目（自己評価結果表）

（調査項目の構成）

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を实践するための制度の理解と活用
4. 理念を实践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を生かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
 - (1) 一人ひとりの尊重
 - (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援
 - (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援
 - (4) 安心と安全を支える支援
 - (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり
 - (1) 居心地のよい環境づくり
 - (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり

V. サービスの成果

※記入方法

- 管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- グループホームの場合は、ユニットごとにその管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- 取り組みの事実を実施している内容、実施していない内容の両面から記入すること。
- 取り組んでいきたい項目に○を記入し、すでに取り組んでいることも含めて、取り組んでいきたい内容を記入すること。
- サービスの成果は取り組みの成果に該当するものを○印で囲むこと。

※項目番号について

- 評価項目は、100項目です。

事業所名 グループホーム なかよし

ユニット名 A棟・B棟 共通

自己評価実施年月日 平成 19年 9月 30日

記録者氏名 檉本 明美

記録年月日 平成 19年 9月 30日

自己評価票 A・B棟 共通

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	1・ホームならではのアイデアで、利用者の立場を考え、サービスを提供して行く 2・地域生活の継続性を重視して、人としての当たり前の生活をする 3・在宅生活の習慣を維持する 4・自然に自分の生活の場と思えるように支援する 5・通院可能な方は職員同行で協力医療機関へ通院している	○	1・週2回地元の量販店へ食材購入の為に入居者交替で出向し、その時に自分の好みのお菓子などを購入している 2・近隣の神社に散歩がてら出向し、落ち葉拾いや草引き等を時々行っている 3・市主催のイベント等を見学に行ったりしている 4・ボランティアの方々の唄や踊りの会に地域の方を招待して交流を重ねている
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	1アクティビティに取り組んでいる 2・本人の得意分野・興味のあることで、役割的に意識付けが出来るよう援助している 3・毎食前の上半身運動及び嚥下体操実施している 4・毎月企画者を決めて、様々なイベント等を行っている 5・デイ職員と合同で定期的ではないが、内部勉強会を行っている	○	1.職員本位のレク促しではなく、その人が本当に興味を持ち、満足・充実して貰えるよう援助していきたい 2.階下デイサービスの休館日を利用して、地域の方達と、生き生き百歳体操や歌謡体操を行いたいと、地域の運営推進委員に提案している 3.地域の保育園との交流はあるが、定期的ではないため、深めていきたい
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	1.毎月請求書と共に近況報告を各担当者に自筆で手紙を書いて貰い、送っている 2・ホーム便りを2ヶ月に1回発行し、家族や近所・知人・各官公署に配布したり、送付したりして理解して貰える様に努力している		1・運営理念は誰もが目につくところに明示しており必要に応じて来訪者や家族等に説明している 2.運営推進委員を通じて、地域の方に理解して貰えるよう働き掛けている
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	1.散歩や外出の際に、近所の方が声掛けして、挨拶したり、会話したりしている 2.入居者の中に近隣の知人が数名おり、時々花や野菜を持ってきてくれる・またボランティアの方が定期的に唄や踊りを披露してくれたり、それ以外に時々来訪し、入居者達と会話や唄を楽しんだりしている	○	常時近所の方に訪問して貰えるよう、交流の機会を広げていきたい
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	1.ホーム主催のイベントに案内状を配布したり、老人会の方が地元の方を誘ってくれたりして入居者達と共に楽しんでいる 2.地元保育園から招待を度々受け、その都度参加させて貰っている	○	1・老人会のイベントにも毎月参加してみたい 2・前月より市主催のつどいの場へ利用者数名と参加する事を試みているが、定期的に習慣付くようにしていきたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	1. デイとの合同のイベント及びホーム主催のイベントに地域の文化活動団体に協力して貰い、利用者へ支援及び交流を深めている 2. 近隣神社境内の簡単な草引きや落ち葉拾いを行っている	○	認知症の理解を深める為、地域住民を対象とした講座の開催
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価を通じて認知症ケアの質の向上を目指す為サービス内容の検討を行い、入居者が自宅で暮らしているような気持ちになるように取り組んでいる		前回の評価を参考にして、改善すべき点は改善し、ハード面は運営者に依頼している・また職員達で改善出来る部分は、定例会議で話し合いをし、出来るだけ実行している
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者達の生活実態を視察して貰ったり、会議内での質疑応答部分で、提案や質問にその都度返答または報告をしたりしている・また会議内容の詳細は記録として残し、前回の質問結果や提案結果等を次の会議に報告している。	○	ホーム主催のイベント等に参加して貰うべく、事前に案内状を送付したり、委員の方の積極的な協力で地元の方達の参加が緩慢ながら増えてきている・また、食器類や野菜等の差し入れも時々ある
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理職・代表者は必要に応じて、運営及びサービス内容等について、相談・話し合いの機会を持っている		市役所福祉課及び担当者等の状況調査があり、本人の現状と今後について、話し合いが持たれている
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者及びリーダーは、関連研修に参加して、講義をその都度受けたりして、学んでいる。また権利擁護事業の利用が必要なケースに対して地域包括支援センターを介して出向いて貰い、本人と何回か面談した経緯がある	○	社協から出されているパンフレット類を閲覧出来るようにしたい
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	定例会議や担当者会議の入居者ケア検討の中で虐待防止について話し合いを持っている・また研修会に参加して、学んだ事を他スタッフに報告したりして、勉強会を行っている	○	虐待防止に関する資料を活用しながら、内部研修を定期的に行う

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	壁に掲示してある運営規定等を折に触れ、目を通しスタッフ一同がおおその事は説明できるよう努めている。詳細については、管理者が契約及び解約の際に、家族に納得して貰えるよう説明をしている。	質問事項については、理解しやすいような説明の仕方を心掛けている
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	1. 担当者会議を通じて、本人の意見を聴衆したり、普段の会話の中から、本人の要望を察知して把握するよう努めている 2. 家族面会の時に、本人が話しやすい場面作りを行っている・また家族を介して管理者や職員に伝える事が出来るよう、話す機会を設けている	今後も継続していく
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	1. 毎月の生活状況については、近況報告として各担当者が手紙を自筆で書いている 2. 毎月体温測定表と血圧測定等は送っている 3. 金銭出納及び領収書のコピーを上記1. 2及び請求書に同封して送っている 4. 金銭管理を初め、必要に応じて報告連絡をしており、その記録は相談日誌として記録に残している	今後も継続していく
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	1. ホーム出入りに意見箱を設置している 2. 家族等が来訪した時に、管理者が利用者の部屋に訪問し、話しやすい雰囲気を作っている 3. 契約時の重要事項説明書に相談窓口を記載しており、また目につきやすい場所に掲示してある 4. 面会時に職員が聴衆した内容は、朝夕の申送及び申送表で全職員に浸透するようにしている	今後も家族等が遠慮無く気軽に話すことが出来るような雰囲気作りを心掛けていく
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	1. 毎月末に定例会議・月初めに各棟のリーダーが集合し、会議を開き、意見・提案等話しあっている。また必要に応じて各棟の臨時会議を行う際に、リーダー2名は必ず出席し、情報や意見・提案を共有している 2. 必要に応じて職員が気軽に管理者及びリーダーに話す事が出来る体制をとっている	今後も継続していく
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	勤務変更・パート雇用で必要な調整を可能な範囲で行っている	今後も継続していく

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者の状態に応じて、棟に馴染んだ職員が支援にあたるように、最小限の移動で対応している。 また利用者との相性等にも十分考慮して、配置している		本人主体の考え方で、精神状態の変化に対応する支援が出来ることを目指し、職員配置を考慮している
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	1. 内部研修・外部研修を通じて、適正な職員を研修に参加させている。また、定期的な合同内部研修を行っており、職員全体が研鑽出来る機会を必要な時に設けている 2. 管理者を筆頭に、各職員が研修で学んできた事を、定例会議において発表し、77の質の向上の為に勉強会を行っている	○	各分野の専門講師を招いて、研修会を開催したい
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	1. 休日を利用して、他事業所に見学に行った事が度々有る また研修会等で出会った時などにお互いに意見交換したりしている 2. 電話により相互間が学びあったりしている	○	事業所間の見学や視察を通じて交流の場を広げ、意見交換等を行いたい
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	1. 休憩室やミーティングルームを設置し、くつろげる場所を確保 2. 定期的に親睦会を開催し、職員間のコミュニケーションや親睦を図っている		運営を交えたミーティングを開催するなど、職員の悩みや苦勞を聴く場を設ける
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	1. 職員個々に時折労いの言葉かけをしたり、公私に渡る困り事や相談があるときは、話し合いの場を設けてくれる 2. 職員の勤務状態に併せて、勤続手当等あり		職員のモチベーションを高める為に、勤務条件や職場環境の改定に努める

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	1. 利用前に本人に面会し、意思疎通を図っている。またそのうえで利用時に不安感を生じず、顔なじみの関係を作るように努めている 2. 入居後の生活に求める事項等の質問・要望を事前に聴いている。また入居当初も、その都度居心地が良く生活が出来るよう、共感・傾聴の姿勢を心掛けている	現在の取り組みを今後も継続していきたい
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	1. 利用前にホームを見学して貰い、生活の実態を視察して貰った上で決めて貰っている 2. 利用後の生活状況、その他の質問に即返答出来るよう、職員間である程度把握するよう努めている。なお主な詳細説明は、家族が理解し、納得して利用出来るよう管理者が説明している	〃
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	1. 家族の主訴を面談を通じて把握するよう努め、サービス内容に反映している 2. 相談時に本人にとって他施設等が適当とあれば他施設の紹介及びアドバイスをを行っている	〃
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	1. 環境に馴染むことを優先し、徐々にサービスを受け入れて貰っている 2. 生活状況等を家族に伝え、意見を貰っている 3. 本人に無理の無いように、興味が持てる事を前提に支援し、他者との意思疎通が図れるよう工夫している 4. 本人が習慣となっていることは、出来る範囲で受け入れている	〃
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	1. 本人の話す言葉を否定せず、耳を傾け共に悲しみや苦しみを分かち合い、同じ目線で対応することを心掛けている 2. おりに触れ、手を握ったり、腕を組んだり等のスキンシップを図り、信頼関係の構築に努めている 3. 本人の生活するうえでの希望は、1対1の会話から学び、共同で家事や個別レクに取り組み、要望が表出されるよう、対話重視の取り組みをしている	○ 1. 四季々の伝統行事を行う際に、昔からの風習や昔の出来事等を回想して貰い、職員達も共に学んでいき、後生に繋いで行く事を心掛けている 2. 懐メロを通じて、当時の出来事等を教わっている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	1. イベント等に家族の参加を呼びかけ、家族と共に行うことで本人が安心して楽しむことが出来るような働き掛けをしている 2. 生活歴や家族状況・家族との面談から把握して、本人・家族関係に亀裂が生じないよう配慮する事を心がけている	○	家族会の発足
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	1. 各利用者の家族状況等を十分把握して、面会時に直接本人と対面するのではなく、本人の心身状態等を予め報告し、職員を交えて面会をしたり、状況に合わせて対応している 2. 上記28；2；同様 3. 面会時間を早朝から就寝迄自由に出入り出来るようにしている 4. 家族や親類の外泊及び外出を、保護者了解の元でして貰っている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	1. 定期的に各々関係者に、ホーム便り及びイベントへの参加を呼び掛け、なじみの関係が途絶えないように努めている 2. 希望に応じて自宅への立ち寄り・通院・近隣散歩・市内量販店への買い物等を通じて、なじみの人と会話等の交流が出来る機会が持たれている	○	市主催のつどいの場へ定期的に出向いて、知人との会話が楽しみに思えて来る援助を続行していきたい
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	1. 共同で家事を行ったり・リビング・自室での会話を通じて交流を図り、孤立感が解消出来るよう努めている 2. それぞれの興味のあることを通じて、意思疎通が出来るような援助を心掛けている		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院中・退去後も訪問及び本人動向について、家族と連絡が取られている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	1. 以前の生活スタイルを維持し、その人らしい生活が持続出来るよう、環境や設備作りに努めている 2. 担当者会議やモニタリング・各担当者との協議の中で、その方の希望や意向を職員間で共有している 3. 自ら意思表示が出来る方は、じっくりと会話する事で、意思疎通を図っている	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個人記録に再三目を通し、新たな課題点は担当者会議で検討し、プラン見直しを行うべく常に話しあっている・また把握出来ていない部分等は、家族に相談し、共に検討している	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	1. 利用者と共に暮らす中で、現状把握に努めている 2. 各利用者の生活パターンを職員間で情報交換したり申送で繋げて行くことにより、その人らしさを把握するように努めている	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	1. 担当者モニタリング・担当者会議で検討及び提出された課題点について検討し、支援記録や個人記録・担当者聞き取り等で再確認後家族とも相談の上で計画を立てている 2. 心身状況等に変化があれば、様子観察後見直しを検討している 3. 各個人に適した対応を職員間で共有出来るよう手順書を作成している	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	生活状況や心身の変化に応じて計画見直しを行っている。見直しまでの変化に対して、介護スタッフと話し合い、新たな対応計画を作成している	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録・申送表・業務日誌・バイタルチェック等を点検しながら、状態変化が把握出来るように努め、見直しに活用している		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	1. 各個人の生活スタイルを重視し、起床時間・就寝時間・散歩の時間等も尊重して援助を行っている 2. ホームならではのアイデアで、日常生活援助部分に重点を置いている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	1. 消防署員立ち会いのもと、年に1.2回の防災訓練実施 2. 救命講習 3. 各官公署に定期的にホーム便り配布 4. 定期的に、文化施設のイベントへ参加 5. ボランティアの訪問及び階下デイサービス合流で歌や踊りの会を定期的に開催	○	地域老人会行事へ参加検討中
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	利用前の相談等で連絡を取り合ったりしている・また連携を取りながら、本人に必要な情報交換を行ったりしている・特に協力医療機関には、本人の体調変化に応じてその都度指示を仰いでいる		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要な利用者に対して地域包括支援センターと協働して、権利擁護事業を活用すべき働きかけを行った経緯はある		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	1. 各利用者の体調及び状態を考慮して、保護者と相談しながら通院または訪問診療を利用している。また通院の方は季節・天候に配慮しながら徒歩・またはホーム自家用で協力医療機関に定期的に通診している 2. 本人または家族の希望に併せて、かかりつけ医院に通診している		協力医療機関への受診対応継続
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	1. 専門受診時に家族の要望により、ホームでの利用者の心身状況等を文書にて報告または連絡を取り合い、必要に応じて指示を仰いでいる 2. 主治医と連携を図っており、必要に応じて相談及び専門医に紹介して貰ったりしている		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	1. 定期的受診や訪問診療で利用者の状態を把握しており、体調不良等の対応について、適切な指示を貰っている 2. 看護師を介して、主治医の指示を仰ぐことが出来、早急の医療活用が出来ている		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	1. 協力医療機関または行きつけ医療機関を通じて、専門医療機関との連携が取れている 2. 訪問診療時または必要に応じて入院中の状況等を主治医に質問または相談している		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	1. 家族及び主治医との情報交換により、何度も話し合い今後の方針を決めている・また共有している・ 2. 家族状況も十分に考慮して、本人または家族の要望を尊重している・		家族及び保護者・医療機関との連携を維持していく
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	1. 主治医の意見を考慮した支援に取り組んでいる 2. 本人の出来ること・出来ないことを職員間で十分に把握し、出来ないことは援助していく体制をとっている。また安楽な生活で日々過ごしていけるよう努力している		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	1. 家族及び保護者の相談を十分に把握し、受容しながら事前に何度も話し合いながら情報交換し、初期にダメージがないように、従来の生活習慣を重視した対応を行っている 2. 介護サマリーや連絡文書等で情報交換を行い、環境変化によるダメージを防止する事に努めている		
1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	1. 居室及びトイレ入室時は、予め本人の承諾を貰い訪室 2. 個人記録には、他者の氏名は記載しないことを徹底 3. 居室入り口には固有名詞は掲示せず、工夫をしている 4. 排泄や入浴等の肌の露出度が高くなる部分は十分に配慮している 5. 本人のプライドを傷付ける言動及び行為は、定例会議等で頻回に協議し、言葉かけや誘導・説明の仕方を工夫するよう努めている		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	個別レク・家事等の得意分野や興味のあるもの・本人希望を重視し、自己選択して貰う為の声掛けや対応を心がけている		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	各利用者の生活パターンを尊重重視し、各自のペースに併せた対応を行っている 抑制や制限をする声掛けや対応は行っていない		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	定期的に訪問理美容を利用しているが、希望者は行きつけの美容院を利用（職員及び家族同行で利用したりしている）		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	1. 毎食職員と共に食卓を囲み、食事中及び食後の団欒を心掛けている 2. 各自の好き嫌いを職員が把握しており、調理時に別の副食で対応している 3. 調理下ごしらえ及び味付け・後片付け・膳運びを共同で行っている	○	利用者の好みをメニューに反映するための聞き取り及び観察
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	1. 疾病関係で主治医より制限されているもの以外は、飲み物やおやつは好みを聞き、希望の多いものを提供する努力をしている 2. 利用者交替で週2回買い物に同行し、好みの嗜好品を購入 3. ミニイベントとして、ホーム内でのミニ喫茶を企画進行し、自己選択の嗜好品を各自自由に摂取して貰い、気分を変えた援助を試みている		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	1. 排泄パターンを把握して、本人の不快感を解消するため日中は失禁パンツやパンツ、夜間は紙パンツ+パットで対応したり、家族に相談しながら対応を使い分けている 2. 失敗時には、羞恥心を感じさせないような対応に努めている 3. 排泄に戸惑いが無いよう必要に応じての個別援助を心掛けている 4. 排便チェックには、十分な配慮をしている		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	1. 本人希望と意思確認後に行われている 2. 各自の入浴に対するのこだわりを尊重 3. 本人の意欲が出る声掛けや説明の仕方、納得して気分良く入浴出来る対応に努めている 4. いつでも入浴可能な対応を行っている 5. 歌の好きな方には浴槽内で一緒に懐メロを歌ったりしている		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	1. 本人のリズムで起床・就床している 2. 各居室の室温調節で適温・ほどよい換気等室内環境に配慮し、安眠や休息が出来る環境作りを心がけている 3. 就寝時間は、本人の意思に任せている 4. 就寝後は室内灯の柔らかい光で不安感を解消して貰う援助をしている		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	1. 各個人の趣味や得意分野が発揮でき、満足感を感じることが出来る援助に努力している 2. 個々の生活歴の中から趣味ではなく、本人の習慣となっている事に対して日課となっていることや行為は、本人の役割として受け止めている	○	1. 市主催のつどいの広場へ参加する事が習慣になり、交流の場として定着する事を期待したい 2. 各個人の鉢を用意し、花を育てる事に取組んでいきたい


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	1. 嗜好品及び日用品の購入に、少額の金額で自ら購入及び支払いを行って貰う支援を心掛けている 2. 計算力が保持できている利用者には、所持金確認と支払い後の確認を行って貰う援助を心掛けている		
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	1. 要望に応じて屋外散歩・買い物同行等を実施 2. 外出を希望されない利用者には、全員で出かける事による連鎖反応を利用して、外出支援を試みている 3. 家族または保護者の誘導で外出出来る楽しみを感じて貰う援助を相談しながら行っている		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	1. 本人の希望を出来るだけ取り入れ、他者と共に楽しみを共有出来る時間作りを考慮し、実行出来るよう努めている 2. ドライブの日を設け、利用者全員が行楽地や花木鑑賞等に出かけ、外界刺激を得る機会を持っている		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	1. 毎週家族から電話が有り、楽しく会話する利用者もいるが、殆どの方は本人からの要求は見られない 2. 帰宅願望の強い利用者には電話の要求はあるが、家族からの要望により制限されている 3. 手紙のやり取りをする方はいないが、外部からの手紙は時々届いている		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	1. 訪問時間の制限はしていない 2. 本人及び訪問者の希望により、居室で会話したり、他者に気兼ねなく会話したりする場所を設けている 3. 訪問者にはお茶の接待や挨拶は欠かさない		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	1. 毎年職員交替で研修に参加し、定例会議において話し合い、職員間で徹底するよう取り組んでいる・身体拘束は行っていない・ 2. マニュアルを作成し、いつでも目に入る場所に掲示している		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	1. 全個室は施錠無し 2. 日中玄関は施錠しておらず、利用者及び訪問者は出入り自由となっている		
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	1. トイレ入室時・各居室・入浴時等の際に、本人承諾のもと訪室している 2. 日中各個人の行動には目配り・気配りを心掛けている 3. 深夜2回巡回、または必要に応じて状態観察している 4. 就寝後～早朝迄のトイレ移動前後に見守りまたは介助し、必要な利用者には居室入室～臥床まで付き添ったり、オムツチェックしたりしている		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個々の認知度及び精神状態等を考慮し、自他に危害を与えるような物品は管理しているが、必要に応じて使用出来るようにしている		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	1. 転倒の可能性のある利用者は、常に付き添い移動中にも再々声掛けしたりしている 2. 各棟会議を通じて事故防止の予防策を話しあっている 3. 防火知識は避難訓練を通じて学んでいる。また救急法は定期的に講習を受けている		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	1. 救命救急講習を定期的に受けている 2. マニュアルを作成し、各職員がいつでも見ることが出来る場所に設置		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	1. 年1～2回地元消防署の協力を得て、避難訓練を行っている 2. 運営推進委員を通じて働き掛けている	○	地域住民への働きかけを直接行う為にも、老人会等交流の機会を多く取りたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	1. 日常生活状況から理解できるリスクについて、面談及びプラン説明時に家族と相談・話しあっている 2. 管理者が契約の際や必要に応じて連絡し、その都度話しあっている	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	1. 申し送りを通じて職員間で情報の共有を行っている 2. 変化と気づきで重要性のある場合は、主治医に上申し、その都度受診等の対応に努めている 3. 毎日バイタルチェック・食摂量・排泄チェック・水分量等の把握に努めている	
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	1. 各利用者の既往歴・現病歴及び処方薬については、問題の無いように徹底している 2. 各利用者の処方及び副作用等は個別記録にそれぞれ添付しており、必要に応じて確認出来るようにしている 3. 症状の変化があれば、その都度主治の指示を仰いでいる	
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	1. 必要な水分補給に努め、摂取量の少ない方にはお茶ゼリーで必要量を確保する事を心掛けている 2. 栄養バランスを考慮し、乳製品や食物繊維を多く摂ることを心掛けて献立に工夫を凝らしている 3. 屋内及び屋外散歩を極力行って貰うように努めている 4. 毎食前に上半身運動及び嚥下体操を行い、毎食完食して貰うよう実施	
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	1. 毎食後うがいや歯磨きを実施している 2. 義歯の利用者には、週1回ポリドントにつけている	
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1. 偏食のないよう調理の際に、色彩や各利用者の状態や力に応じて、食器を変えたり献立の工夫に努めている 2. 個人記録を確認して、摂取量の把握に努めている 3. 水分量確保の為に、おやつの際に乳製品やそれに変わる物で対応したり努力している 4. 好き嫌いのある利用者には、完食するよう工夫している	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	1. マニュアル作成し、常時目がつく箇所に掲示してあると共に ファイルに綴じて必要なときに確認出来るようにしてある 2. 流行前に予防注射実施と事前に勉強会を行っている また・発生時期には予防対策も徹底している		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	1. 毎食後食器及び調理器具等は殺菌剤等で消毒している 2. 食材は出来る限り熱湯を通して 3. 提供した食事の材料は冷凍庫に保存 4. 消費期限・賞味期限の食材は使用しないことに努めている 5. 定期的に台所・調理台等は消毒及び大掃除実施		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	1. 階下玄関口には手摺つきスロープを設置し、ホーム迄は手摺付き階段またはエレベーターを設置しており、全ての入り口はバリアフリーになっている 2. ホーム入り口には下駄箱等を設置し、玄関と理解できるようにしている 3. 日中施錠はしていない		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	1. 中庭に花壇を設けたり、各要所々に観葉植物や花瓶を設置し、花を生けたり季節感に配慮している 2. ホーム玄関口や利用者の希望により、各部屋に手作り暖簾を掛けたり、各居室に写真を貼ったり、個別的に工夫している 3. 光りの調整はカーテンやブラインドで調整している		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	1. ソファや花壇を備えて、自由に過ごせる場所を確保している 2. 仲の良い利用者同士が自発的にそれぞれの居室で対話したりしていることもある 3. リビング内・浴槽前・台所付近にもくつろげる場所を設け、各自自由に過ごせるようにしている 4. A棟には畳みの間・B棟にはソファの前にテレビを設置し、お互いに行き来しながら交流が出来るようにしている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	1. 本人が以前から使用していた寝具・家具・電化製品等を持 ち込み、居室で利用している 2. 各利用者が使い勝手が良いように、各自自分で整理して いる		
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	適宜に室温調節や窓開閉を行っており、特に掃除時間や夜間 の室温調節には注意を払っている		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	1. 手摺設置・フロアや居室・トイレの段差解消済み 2. 自室及び浴場・トイレ・脱衣等に呼び出しブザー設置		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	1. A棟；各居室の扉の色・トイレ扉の色を各々変えている 2. トイレの扉に大きく解りやすい文字で目印を付けている 3. B棟；居室目印に造花や似顔絵をつけている 4. 自作の塗り絵を居室へ飾ったり、写真を飾ったり 居室間違いに対処している 5. 好きな生活作業や個別レクへの参加を通じて、理解できる 力を維持して貰っている		
87 ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	1. 中庭に椅子を設置し、花鑑賞・除草作業・くつろぎに利用 している 2. 近隣の神社を散歩コースに利用している		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

1. 1人1人の個性を損なわず、素朴でアットホームなグループホームを目指しています
2. 興味のあることや得意な分野を発揮して貰い、自力で出来る行為は尊重し、出来ない事のみ援助する事を心掛けています
3. 転倒予防に重点を置き、各自の体調維持と穏やかでおおらかな心で生活して頂く事に取り組んでいます